



ひとりひとりが 考えてみるこ

くなり、その結果行政サービスに影響することが予想されます。厳しい経営の中で維持されているバス路線が廃止となり、ほかに手段がなくなつてから考える手遅れです。

そのままバスの利用者が減り続けられ、千歳でも新しい交通手段を考えるときが来てしまふかもしれません。

ただし、そのときは今よりも市や市民の皆さんの負担が大き

路線バス、利用する？しない？

ひとりひとりが日常の生活を振り返り、利用する交通手段などを考えることが大切です。



みんなでいっしょに 悪循環を良い循環に

市は、路線バスを含めた公共交通のあり方などを考えるため、平成19年から「千歳市地域公共交通会議」を設置しています。

この会議では、バスやタクシーを運行する事業者、利用する市民・町内会・老人クラブの代表者などが集まり、バスの利便性を高める取組について意見を交わしています。

市内のバス路線は、公共交通

自家用車がないため、病院や買い物など日常の足としてバスの存在は欠かせません。通勤では千歳駅で乗り継いで利用していますが、現在は待ち時間が長いので、乗り継ぎが便利になるとうれしいですね。



利用します
(富丘／60歳代の女性)

小さな子どもがいるため、30分に1本のバスに合わせた時間に出発することや荷物を持って乗り降りすることなど大変なことが多く、車の便利さにかないません。せめてもう少し本数を多くしてほしいですね。



利用しません
(新富／30歳代の女性・
寿／30歳代の女性)

自宅から千歳駅まで距離が離れているので仕方ないかもしれませんが、運賃が高いですね。通勤や通学で毎日利用すると結構な出費になるので、近所でも車で送り迎えをしている方が多いですよ。



利用しません
(里美／40歳代の女性)

千歳に来て数ヶ月です。以前住んでいたところは目的地に駐車場がなくバスの路線も多かったので通勤や買い物で利用していました。こちらはほとんどの場所に駐車場があるので、公共交通の出番は少ないですね。



利用しません
(北栄／30歳代の男性)

健康のことを考えて日常はなるべく歩いていますが、バスは乗り場や路線、料金が複雑で利用しづらいですね。市民病院に「ピーバス」が行くことは知っているけど、遠回りで時間がかかるので、タクシーを利用します。



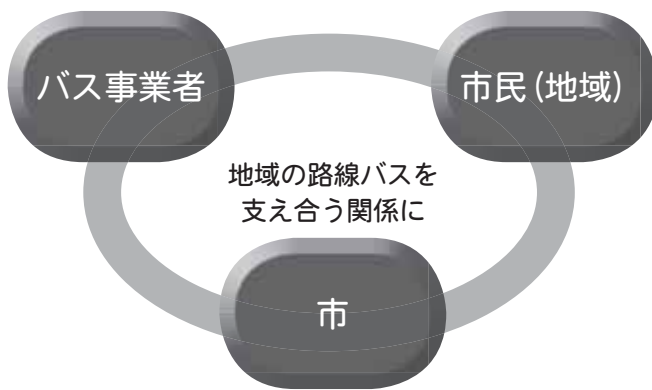
利用しません
(清水町／70歳代の男性)



路線バス復活物語～序章～

みんなで考える「公共交通」

図3：路線バスを支える輪



を整備する基本計画にもとづき、JR千歳駅を中心に設定されています。駅で路線バスを乗り継ぐことで、それぞれの目的地に行くことができる仕組みです。

また、コミュニティバス「ピーバス」は、公共交通の空白地域を少なくし、より利便性を高めるために、路線バスと役割を分担して運行しています。

今後、バス路線を維持するためには、バスを利用する・利用しないにかかわらず、皆さんとバス事業者、市がそれぞれの立場で役割を考え、支え合うことが大切です。

【バス事業者と市の役割】

▼利用者を増やすという目標に向かい、路線によって異なる利用者数などの状況を調査し、運行方法を工夫するなど、利便性をより高める努力をする。

【市民(地域)の役割】

▼自分たちの公共交通として、いまの路線バスを利用することを前提に、「どうしたらより便利になるか」、「利用する機会ができるか」を考える。